令和８年　第９回大崎市教育委員会定例会会議録

1　招集期日	令和８年９月２４日（木）	開会　午後２時３５分	閉会　午後３時００分	
2　招集場所	本庁舎　３０６会議室			
3　出席委員等	教育長	熊野　充利	教育長職務代理者	堀　智恵子
	委　員	佐　藤　寛	委　員	伊藤　亜希
	委　員	一條　美奈		
4　欠席委員	委員　早坂　正年			
5　傍聴者	なし			
6　事務局職員出席者	教育部長	伊藤　文子	教育部参事	尾口　洋行
	教育総務課長兼室長	大石　　淳	学校教育課長	久本　　裕
	参事兼生涯学習課長兼室長兼館長	中川　早苗	文化財課課長	浅野　　拓
	地域交流センター長	佐々木　法由	図書館館長	橋本　知子
	学校教育課副参事	千葉　弘昭		
7　書　記	教育総務課課長補佐	中嶋　慎太郎	教育総務課主幹兼係長	本間　陽子
8　議　事	議　事 議案第 41 号　人事案件について 議案第 42 号　大崎市学校給食運営審議会委員の委嘱について 報告事項 （１）おおさき未来塾（中学生）について			

１　開会	教　育　長	ただいまから令和８年 第９回大崎市教育委員会定例会を開催いたします。 　出席委員定足数に達しておりますので、本定例会は成立いたしました。これより会議を開きます。
２　会議録署名委員指名	教　育　長	次に、本日の会議録署名委員を指名いたします。 　一條委員、お願いいたします。
３　諸報告	教　育　長	本日、早坂委員より、欠席する旨の届け出がありましたので、ご報告いたします。
４　傍聴者	教　育　長	本日の教育委員会定例会への傍聴者については、おられないことを報告いたします。
５　教育長報告	教　育　長	続いて、私から教育長報告をさせていただきます。 　南海上で発生した台風２５号は、やや迷走しながら八丈島を直撃し、東京に上陸し、東北縦断かと思われましたが、北東の海上に逸れ、難を逃れました。 　今年は９月に入ってから長雨が続き、内水氾濫や土砂崩れによる災害が心配されるところです。 　そのような中で、８月３０日には松山 B&G 海洋センターを会場として総合防災訓練が行われ、中学生も参加をし、段ボールベッドの組立てを体験したり、様々なブースも設置され、非常時に備えた取組みが行われました。 　各園、各学校におきましては、概ね順調に学校行事が行われ、子供たちは伸び伸びと活動し、多くの成果を挙げているところです。 　特に、９月９日に行われた「チャレンジ day」では、「スターバックス」や「郵便局」なども初参加していただき、市内３７講座、６０８人の子供たちの参加を得ることができました。今回は保護者の方々の来場も多く、１２２名の参加を得ました。 　今回は私も講座を開くことができ、岩出山小学校の理科室で「浮くもの沈むもの」と題して実験講座を行いました。２０人の参加を得て、幸せな一時を過ごすことができました。 　講座を開く方も、子供たちも共に楽しんでほしいと願っております。 　また、９月１８日には、岩出山で政宗公まつりが行われ、今年は当別町から中学生４人も来まして、岩出山中学校の生徒との交流や、すずめ踊りを学び、当日は街頭で岩出山中学校の生徒と一緒に法被姿で練り歩き、踊りを披露しました。 　次に、部活動の地域展開についてですが、宮城県古川工業高等学校との連携事業「地域展開　古川工業高

		校にＧＯ！」が、９月から本格的にスタートしました。８月２９日に宮城県古川工業高等学校主催の全体説明会が同校を会場に開催され、中学生２１人、保護者２８人が出席しました。 　今後、第２回目の全体説明会を１０月１７日に開催予定であり、多くの生徒が、本事業へ参加してくれることを期待しているところです。 　なお、現在、地域クラブへの加入状況調査を大崎市立中学校・義務教育学校の全生徒を対象に実施しております。集計がまとまりましたら、改めてご報告をさせていただきます。 　次に、「第 73 回河北書道展大崎展」が市民ギャラリーにおいて本日よりはじまりました。 　今回は、大崎地方に在住または出身の方の作品を中心に約１６０点を展示しております。 　特に、大崎市からは、篆刻(てんこく)・刻字(こくじ)部門で最高賞の「河北賞」を受賞された方をはじめ、多くの市民が受賞、入選されております。会期は９月２７日までの開催となっておりますので、その修練の賜物を是非、ご鑑賞ください。 　次に、ジュニア・リーダー夏休み企画についてご報告いたします。 　８月１８日、旧下伊場野小学校を会場に、松山地域のジュニアリーダーサークル『竹馬（たけうま)』の自主企画「オバケ屋敷のナゾをとけ！」が開催されました。 　当日は、松山地域の小学生２８人が参加し、ジュニア・リーダーから出題された謎解きやお化け屋敷迷路などのミッションに力をあわせて挑戦しました。 　夏休み期間中における子どもたちの健全な育成や、地域若手リーダーの主体的な活動の場としても、非常に有意義な取り組みであったと捉えております。 　先日、９月１７日に開かれた令和７年度の会計に伴う「決算特別委員会」では、議会各会派代表からの質問を受け、しっかりと答えたところです。 　来週からは４日間に渡り、一般質問を受けることとなっており、誠意をもって答えてまいります。 　１０月に入りますと、いよいよ大崎市市制誕生２０周年記念行事が行われることとなり、忙しさも増して参ります。 　私たち職員の健康にも気を配りながら、頑張って参りたいと考えております。

		以上で、教育長報告を終わります。
	教　育　長	ただいまの教育長報告について、何かご質問はございませんか。 （なしの声）
	教　育　長	それでは質疑がないものと認め、教育長報告につきましては以上とさせていただきます。
６　議事	教　育　長	続きまして議事に入ります。 初めに、日程第１　議案４１号「人事案件について」を議題といたします。
	堀　委　員	発議。
	教　育　長	発議がございましたので、認めます。
	堀　委　員	人事案件でありますので、教育委員会会議規則第５条第１項の規定により、議案第４１号を秘密会とすることのお取り計らいをお願いいたします。
	教　育　長	お諮りいたします。 議案第４１号を秘密会とすることにご異議ございませんか。 （異議なしの声）
	教　育　長	ご異議なしと認め、議案第４１号については秘密会といたします。 教育部長、教育部参事、教育総務課長、参事兼生涯学習課長を除き、そのほかの方々はご退室願います。
		（退出者入場後、再開）
	教　育　長	それでは再開をいたします。 次に、日程第２　議案第４２号「大崎市学校給食運営審議会委員の委嘱について」を議題といたします。 教育総務課長、説明願います。
	教育総務課長	議案第４２号、大崎市学校給食運営審議会委員の委嘱についてご説明申し上げます。 学校給食運営審議会委員につきましては、令和６年１０月１日から令和８年９月３０日までの２年の任期として１５名を委嘱しております。今般、令和８年９月３０日で任期満了となりますことから、委員１５名を委嘱する内容となっております。議案説明につきましては以上でございます。

	教　育　長	ただいまの説明につきまして、質疑はございませんか。 （なしの声） 質疑がなければ、本案についてご異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。
7　報告事項	教　育　長	次に、報告事項に入ります。 はじめに、「おおさき未来塾（中学生）について」の報告をお願いします。 学校教育課参事、報告をお願いいたします。
	学校教育課参事	私の方から「おおさき未来塾（中学生）」について報告させていただきます。資料４ページをご覧ください。 「おおさき未来塾（中学生）」の目的につきましては、大崎市に住む子供たちが自分たちのふるさと大崎を知り、大崎を誇りに思うことができる心を醸成する。そして、自分たちが大人になったときの大崎に思いを馳せ、明るい未来を創造できる人材を育成していくことを目的としております。 これまでも、小学生、中学生を対象に、自分たちの学校の良いところを紹介することや、住んでいる大崎の良さや、こうなってほしいという提案などを、おおさき子どもサミットや生徒会夏冬サミットを通して行ってまいりました。 「おおさき未来塾（中学生）」として、これまで行ってきた既存事業をベースに、新規事業を組み合わせながら、目標達成を目指してまいります。 新規事業としては「プレゼン大会」の実施をいたします。テーマを設定し、生徒自身が描く大崎市の未来についてのプレゼンテーションを募集します。 対象は市内中学２年生とし、個人もしくは３人以下のグループでの参加を呼びかけます。 その中から大賞、準大賞、入選等を選び、表彰者は「おおさき未来塾（中学生）」の塾生として活躍してもらう計画となっております。 「おおさき未来塾（中学生）」では、入選者によるプレゼン発表を行い、その際、中島市長とのディスカッションの時間を設けていきます。 また、外部研修として、プラチナ未来人材育成塾に応募したり、姉妹都市を訪問し、現地の中学生との交流の機会を設けたりということを考えております。 既存事業としては、おおさき子どもサミット、生徒会夏冬サミットやチャレンジ day の場で市長と対話を

		する時間を設けたり、各校におけるキャリア教育「先輩から話を聞く」の中で、おおさき宝大使の話を聞く会を設けていきます。 　資料５ページをご覧ください。こちらは年次計画になります。 　令和８年度は、既存事業のチャレンジ day や生徒会夏冬サミットにおける市長との対話の時間を設けていきます。 　そして、「おおさき未来塾（中学生）」に繋がる大崎市の未来を描くプレゼン大会を実施していきます。 　令和９年度には、本格的に「おおさき未来塾（中学生）」を開講し、プレゼン発表や外部研修への参加を実施していきます。 　令和１０年度には、これまで行ってきたものに加え、各校のキャリア教育における、おおさき宝大使から話を聞く機会を設定していく予定です。 　資料６ページ以降は、これまで説明した内容をまとめたものとなります。 　以上で「おおさき未来塾（中学生）」についての報告を終わります。
	教　育　長	ただいまの報告につきまして、何かお聞きしたいことがあればお出し願います。
	一 條 委 員	事務局の皆様、新規事業を考えるにあたり、本当に大変お疲れ様でございます。たくさんの資料をありがとうございました。 　それでは、三つ質問させていただきます。ひとつ目は中学校２年生が対象であるということですので、中学校の校長会と現場の声を聞くというような機会があるのかということが１点です。 　ふたつ目は、これまでの生徒会サミットとの違いをもう一度ご説明いただけたらと思います。生徒会サミットのテーマと、それからこのおおさき未来塾の目的が重なるような感じがいたしました。 　違いについてもう一度ご説明いただけたらと思います。 　三つ目です。プレゼンのテーマなのですが、どのような趣旨で今後決めていかれるのか、ご説明いただけたらと思います。
	学校教育課参事	ひとつ目の質問についてお答えします。

		校長会等での説明についてですが、１０月の校長会で説明する予定となっております。中学校の校長先生方にご理解いただいて、より良いものにしていきたいと考えております。 ふたつ目の生徒会サミットとの違いについて、お答えさせていただきます。 これまで行ってきた生徒会サミット等は、学校を中心に行っているものでありまして、今回のプレゼン大会については、個で行うもので、子供の主体性を生かしながら、１人１人または少人数のグループで、子供たちそれぞれの考えが出てきたらと考えております。また、負担感を学校に与えないということと、子供たちも負担に思われては良いものが出てこないというところもありますので、三つ目の質問にも繋がりますが、テーマについても、持続可能なものというところ、プラス思考で考えられるテーマということで、子供たちがより良い事を考えていけるようなテーマを検討していきたいと考えております。
	伊藤委員	年次計画についてですが、令和８年度で、プレゼン大会が２月にあるとなってるのですが、プレゼンの申し込みをいつまでにするかというのは決まっているのでしょうか。
	学校教育課参事	具体的なところはまだでして、これから精査していくところではあります。 生徒会夏冬サミットのテーマ等を活かしながら、各校で負担感のないようなところと、子供たちがしっかり考えられるテーマを考えているところですが、実施は１月下旬から２月上旬を考えておりまして、精査しながら進めているところです。
	伊藤委員	申し込みはいつからでしょうか。
	学校教育課参事	１０月の校長会で、まずは校長先生方にお話をしまして、その後要項等をお配りすることになりますので、日にちがだいぶ狭くはなっていくのですが、何とか年内中には検討を重ねながら来年の１月、２月の実施に向けてやっていきたいなと考えております。
	一條委員	今の質問に関連しまして、２月の時点では中１にあたりますか。

	学校教育課参事	はい。そうなります。
	堀　委　員	１０月の校長会での説明ということですが、割とボリュームのある内容で、初めてのことですし、狙いとかもしっかり伝わればいいんですけど、校長先生から担当の先生に対しての伝わり方、担当の先生方がこの取組みをしっかり理解できるかどうかというのが大事だと思います。担当の先生方にしっかりした内容が伝わらないと、せっかくのチャンスを逃してしまう子も出てくるような気がします。 ですので、校長先生を信頼しないわけではないですが、担当の先生方の持つ不安とか質問とかは答える場があっても良いのかなと思いました。
	学校教育課参事	全くその通りだと思います。まずは校長会で校長先生方に説明をして、各校で話し合ってもらって色々と出たものを吸い上げることも考えられますし、担当者を集めてという部分についても、どのように持っていくか考えながら検討してまいりたいと思います。
	佐藤委員	学校を通して子供たちに説明するということですか。市から直接子供たちに説明というか募集というか、そういった事もやる予定なんでしょうか？
	学校教育課参事	基本的に募集としては学校を通してということになると思いますが、タブレット等通して、こちらからの資料を子供たちに直接、１人１台のタブレットの方で発信することも方法としてございます。
	一條委員	生徒会サミットと、この２月のプレゼンの順番からいうと、サミットが先で、その後にプレゼンという順番になるかと思うのですが、生徒会サミットで発表したテーマをまた改めてこの「おおさき未来塾（中学生）」でもプレゼンしても良いのでしょうか？
	学校教育課参事	学校の負担感等を考えると、それも可能にしたいと思っています。そのためには生徒会サミットのテーマと合わせながら考えて、子供たちがより良く考え、発表に繋げられるようなものにしていきたいと考えております。
	教　育　長	他にございませんか。

	教　育　長	（なしの声） 　新しい提案でございますので、また精査しまして、詳しくなった段階でまた教育委員の皆様にはお示しをさせていただければと思っております。ありがとうございました。
	教　育　長	本日の議事案件については以上となりますが、委員の皆さんから、ほかに何かございますか。 （なしの声）
８　閉会	教　育　長	ないようですので、以上で本日の教育委員会定例会を終了いたします。
各課・館報告	教　育　長	次に、各課・館の報告に入ります。 報告がある方は挙手をお願いします。

この会議録の作成者は次のとおりである。

教育総務課　総務担当　主幹兼係長　本間　陽子

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和　　年　　月　　日

教　育　長＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署名委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿